

～今後十年を見据え、環境変化に対応し持続的に発展する『競争力のある元気な産業づくり』を展開～

本県の強み

- **ニッチトップ企業の集積**
－ 64社(2013年9月)
- **高等教育機関の集積**
－ 人口当たりの高等教育機関数が全国第2位
- **製造業の集積**
－ 製造業特化係数1.33
－ 繊維産業、生産用等の機械産業の集積が高い。
- **豊富な地域資源**
－ 地域団体商標件数全国3位
－ 伝統工芸品の国指定件数全国第6位
－ 世界農業遺産や食文化
- **比較的安価な電力と低い大規模地震リスク**
－ 安価な電力
－ 大規模地震のリスクが比較的少ない。
- **3大都市やアジアへのアクセスが進展**
－ 港湾、空港、新幹線、高規格道路の整備進展

今後十年間を見据えた課題と機会

- **人口減少に伴う国内市場縮小**
－ 国内人口は560万人減
－ 発注獲得競争の激化
－ 消費者ニーズの多様化
- **グローバル化の進展**
－ 大手企業の海外投資増加
－ 世界的な貿易総量増加
－ 原料高騰と製品価格低下
－ 為替や外需の影響増大
- **新興国等の海外市場の成長**
－ アジア等の新興国のGDP増大
－ 県内企業の海外拠点数の増加
- **新成長市場の拡大**
－ 革新素材の研究環境進展
－ 環境、ライフ分野等の成長市場の拡大
- **産業基盤の変化**
－ 企業誘致の進展
－ 県内地域の特色に応じた製造業の発展
－ 全国的な創業気運の高まり
－ 設備の老朽化の進行
－ 事業後継問題の顕在化
- **少子高齢化による生産年齢人口減少**
－ 生産年齢人口が6割弱へ
－ 高齢人口が3割強へ
－ 女性就業率が全国1位
－ 県総人口も6%低下
－ 県内高等教育機関卒業者の約6割が県外で就職

新製品開発による新規需要の創出	国際展開の拡大	次世代産業の創造	地域の強みの活用	戦略的企業誘致の推進	事業基盤の強化	産業人材の総合的育成・確保
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 新製品開発の促進 ➢ 生産技術の高度化による製品の高品質化の促進 ➢ 販路開拓の促進 ➢ 異分野連携や新分野展開の促進 ➢ 産学官連携研究の促進 ➢ 創業の促進 ➢ 消費者ニーズ獲得の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 海外情報収集や市場調査等、国内における準備体制の強化 ➢ 輸出等による海外需要獲得の促進 ➢ 県内の雇用確保と両立した現地展開による外需獲得の促進 ➢ 海外展開対象地域やネットワークの広域化の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 産学官連携研究の促進(再掲) ➢ 研究開発人材の確保・育成 ➢ 事業化の加速 ➢ 裾野の拡大の促進 ➢ 新技術・市場への迅速な対応の促進 ➢ 国事業等を活用した革新的な研究開発の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ニッチトップ企業の増加・育成の推進 ➢ 地域資源を活用した製品・ビジネスの促進 ➢ 食文化の発信 ➢ 産学官連携研究の促進(再掲) ➢ 産業集積の拡大 ➢ 充実した交通インフラを活用した外需獲得の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 安価な電力等の優位性を活用した戦略的企業誘致の推進 ➢ 地域の特性に応じた企業誘致や事業創出 ➢ 県内企業による設備投資の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ コスト削減や、品質・生産性向上等への取組の促進 ➢ 円滑な資金調達の促進 ➢ 地域での事業や技術の継承の円滑化 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 次代の経営者育成 ➢ 高度専門(企画・提案等)人材の確保・育成 ➢ グローバル人材の確保・育成 ➢ 若手人材、技能人材の確保・育成 ➢ 女性や高齢者の活用 ➢ 高等教育機関からの人材供給の円滑化 ➢ モノづくりへの関心の醸成